



高知県立消費生活センター

地域見守り情報

大けがも！ジャンプ式折りたたみ傘にご注意！

ジャンプ式折りたたみ傘には強力なバネが内蔵されており、手元のボタン操作で傘が開く仕組みです。収納時には手で中棒を押し込む必要がありますが、途中で手を離すとバネの力で勢いよく手元が飛び出すため、手元が顔などに当たり重篤なけがをしたという事故の相談が全国の消費生活センター等に寄せられています。十分注意してください。

【事例①】

ジャンプ式折りたたみ傘の手元を押し込んだところ、完全に押し込めていなかったらしく、手を離れたとたん勢いよく手元が飛び出して眼球を直撃し、水晶体を支える目の繊維が切断されたため、視力が低下した。

(50代 女性)

【事例②】

ジャンプ式折りたたみ傘をさして登校し、玄関で傘を閉じて中棒を収納しようとしたときに、はね返ってきた手元が前歯と唇にあたり、前歯が1本折れ唇を2針縫う大けがをした。購入時に注意表示のタグが付いていたが、詳しく読んでいなかった。

(10代 女性)

【事例③】

ジャンプ式折りたたみ傘を収納する際に、完全に奥まで差し込んで止めることができなかったので中棒がはね返ってきた。強い反動で手元があごに当たり皮下出血してあざができた。

(70代 女性)

アドバイス

1. 使用前に取扱説明書や注意表示をよく読み、収納する際には、横方向に傘を持ち、手元（傘をさす際に手で握る部分）をカチッと音がするまで押し縮め、中棒がはね返って顔や体に当たらないよう十分注意しましょう。
2. これからジャンプ式折りたたみ傘を購入するときは、飛び出し防止機能が備わった商品を選択するようにしましょう。
3. トラブルに遭った時には、すぐに消費生活センター等に相談してください。（消費者ホットライン「188（いやや）」番で最寄りの消費生活センター等につながります。）

